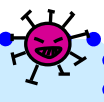


咽頭結膜熱(プール熱)に注意!



どんな病気?

アデノウイルスが原因で、子供によくみられます。プールでの感染も多いので、プール熱とも呼ばれます。

主な症状は発熱・のどの痛み・結膜炎で、3~5日間ほど続きます。目の症状(充血、目やに・涙が出やすい等)が強い時には、眼科の治療が必要になります。

原因となるアデノウイルスの種類によっては、免疫機能が低い人、乳幼児や高齢者などで重症になる例もあります。



流行のようすは?

通常、6月頃から増え始め、夏にピークがあります。地域で流行し、集団生活の中で、一度に多くの患者が発生するケースもみられます。特に、保育園など子供が通う施設では、流行時期の集団発生も珍しくありません。

感染のしかたは?

飛沫(ひまつ)感染あるいは接触感染で広がります。鼻水・目やに・便などの中にあるウイルスが、鼻・のど・目に入って感染します。感染力は強力で、患者がふれた物(タオル・手すり等)にさわって感染する場合があります。プールでの感染は、水を介した感染だけでなく、タオルの共用も大きな原因です。

治った後も約1か月間、尿・便にウイルスが排出されると言われています。潜伏(せんぷく)期間は5~7日とされています。



学校や保育園は?



熱、のどや目の炎症などの主な症状が消えてから後、2日が過ぎるまではお休みしなければなりません。病状によっては、医師に相談してください。

予防するには?

一般的な予防法が大切です。

- 普段から、手洗い・うがいを正しく行う習慣をつけましょう。
- ハンカチやタオル等の共用は止めましょう。
- プールの前と後には、シャワーをきちんと浴びましょう。

